開会挨拶

金澤　一郎
日本学術会議会長

イノベーションは国の力であるが、それは技術の革新にとどまらずに、システムの改革、意識の改革を含めた大変広い概念だろうと理解している。しかし、日本の中でのイノベーションにはもう限りがあり、グローバル・イノベーション・エコシステムが大きな力を発揮するだろうことは、誰の目から見ても明らかである。

私たちの日本学術会議でも、年間に 10 個ほど課題別委員会を立ち上げて、ほぼ 1 年かけて何らかの結論を出そうと努力しているが、それに加え、昨年あたりから課題別委員会の中に長期にわたってじっくり議論していく委員会を作って動き出したところだ。学術会議としては、Ｇ８サミットに合わせて、Ｇ８＋５の 13 の国のアカデミーが集まって気候変動とグローバルヘルスに関して共同声明を出すことになっている。また、科学者の中には、地球規模の問題は二の次三の次という方々がいることも承知しているが、そういう意識の格差を少なくすることも日本学術会議のもう一つの役目だと思って、力を尽くしていきたい。現在、グローバル・イノベーション・エコシステム（ＧＩＥＳ）という言葉が非常にポピュラーになってきているが、2006 年に始まった 1 回目、昨年の 2 回目に続き、今年も大成功を収めることを心から祈っている。